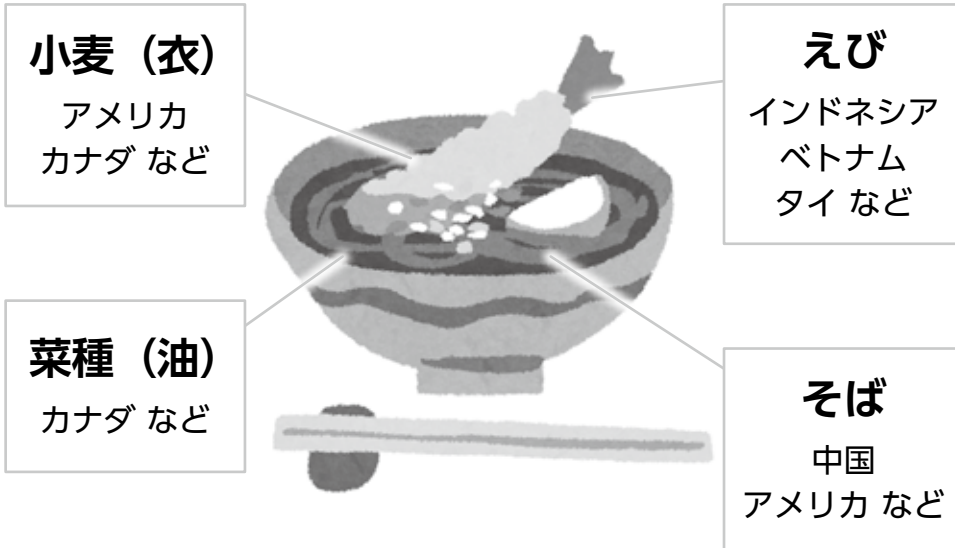


未来をつくるごはん・こわすごはん

《天ぷらそばの主な材料の輸入先》



通信

7月
vol.129

役場町民課
消費生活センター
☎ 27-1958(直通)
※来所の際は事前にお電話頂けると確実です

フードマイレージ

天ぷらそばの食料自給率(カロリーベース)は、意外にもたったの22%(平成26年度農林水産省資料より)。材料のほとんどを輸入に頼らなければ、この日本食を作ることができません。食料自給率の低さは輸送時に排出される二酸化炭素の多さにつながり、日本は食材を運ぶ距離を表すフードマイレージが突出して高い国です。

エシカル消費

インドネシアではエビの養殖池を作るためにマングローブ林が大量伐採され、アメリカでは乾燥地帯で大規模な小麦栽培を行うために地下水が過剰に汲み上げられ、地下水の枯渇が危惧されています。その一方で、持続可能な取り組みで生産されたエビや小麦もあります。**社会、環境への配慮**という視点を加えた消費行動(知ること、選ぶこと)を、エシカル消費といいます。(エシカル…倫理的、道德的)

地産地消

地元で作られたものを地元で消費する「地産地消」は、良いことづくめの仕組みです。消費者にとっては新鮮で作り手の顔がわかる(安心につながる)利点があり、地元の作り手にお金が還元されることは地域の活性化にもつながります。そして、フードマイレージもぐっと減らすことができます。聖籠町では「うちはお米と野菜はほとんど自家製!」というご家庭も少なくないかもしれませんね。

買い物は投票

私たち消費者は「買うこと」でYES、「買わないこと」でNOという意思表示ができ、消費者に選ばれたもの、望まれたものが作られていきます。良いと思う取り組み、応援したい人が作る「背景もおいしい」商品を選んでみませんか?



SDGs (持続可能な開発目標)

5月相談受付状況

件数	主な相談内容
11件	貴金属等の訪問購入 ・健康食品・健康飲料 ・情報商材・消費税・電気